

東日本大震災特集号

平成23年
5月15日発行

この度の震災により、亡くなられた方々に対して衷心からお悔やみ申しあげますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申しあげます。



震災により天井が崩落したふれあい館プール

がんばろう 日本!

平成23年3月11日午後2時46分。
あの日、あの時間を境に、

日本は戦後最大ともいうべき
試練に直面しております。

津波にのみこまれる町や水
素爆発で大きく壊れた原子力
発電所、瓦礫の中で茫然と立
ちすくむ人、長期化する避難
所生活、自衛隊員や警察、消
防、ボランティア等による懸
命な活動など、東日本大震災
関係の映像が連日流され、ま
た、日本の経済成長を支えた
システムのもろさや矛盾など、
様々な情報が国内のみならず、
世界を駆け巡っております。

私たちは、この未曾有の大
災害を前にして、家族と一緒
に過ごせることの幸せ、家族
がそろって笑顔でいられるこ
との幸せに、改めて気づかさ
れました。今ほど、日本全体
で、支え合い、繋がり合うこ
とが求められているときもま
た無いでしょう。

「心は誰にも見えないけれ
ど、心遣いは見える」、「思い
は見えないけれど、思いやり
は誰にも見える」という宮澤

章二さんの詩「行為の意味」
のとおり、私たち一人ひとり
が自らできることを考え、目
に見える形で行動してみよう
ではありませんか。

すでに国内外の多くの機関
や企業、そして個人の方々か
様々な形で被災地の復興支援
に取り組んでいます。本市に
おきまして、県と連携しな
がら、今後も引き続き、被災
者への対応や県内外の被災地
への職員の派遣など、様々な
形での復興支援をしまいい
ます。

甚大な被害は回復しかけた
日本経済に大きなダメージを
与え、復興のための巨額な財
政出動は、国の財政のさらな
る悪化が危惧され、本市にお
いても税収の落ち込みなど、
厳しい局面も予想されます。

しかしながら、行政と市民、
事業者の皆様とが互いに協力
し合い、英知を結集して行動
することにより、必ずやこの
難局を乗り越えられるものと
信じております。

「がんばろう 日本！」

下野市長 広瀬 寿雄

